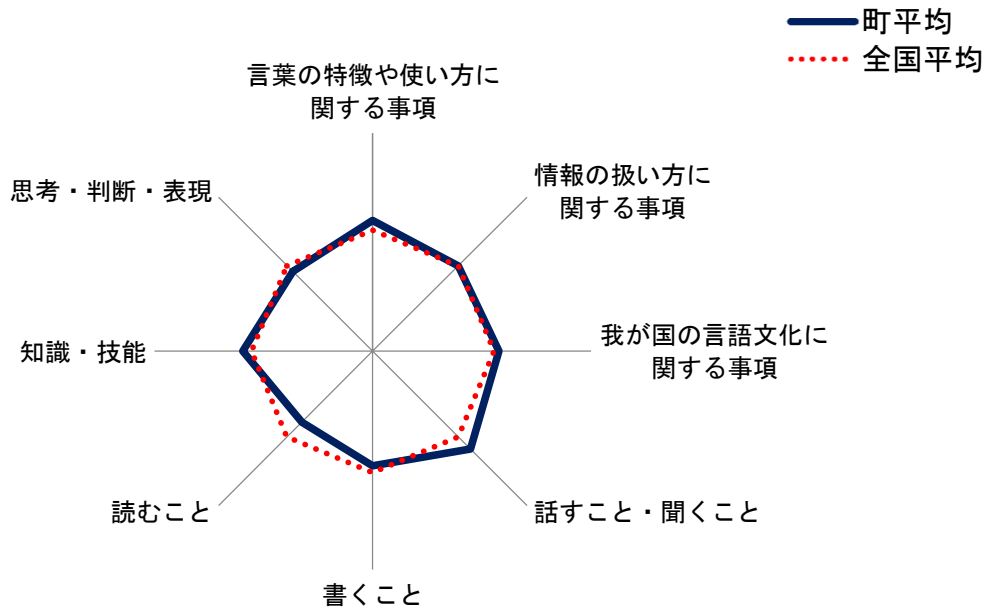
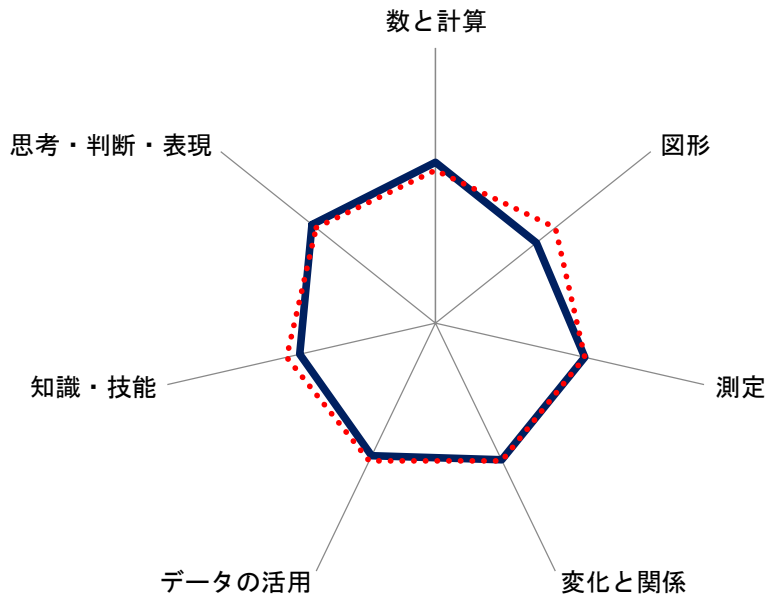


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

【国語】

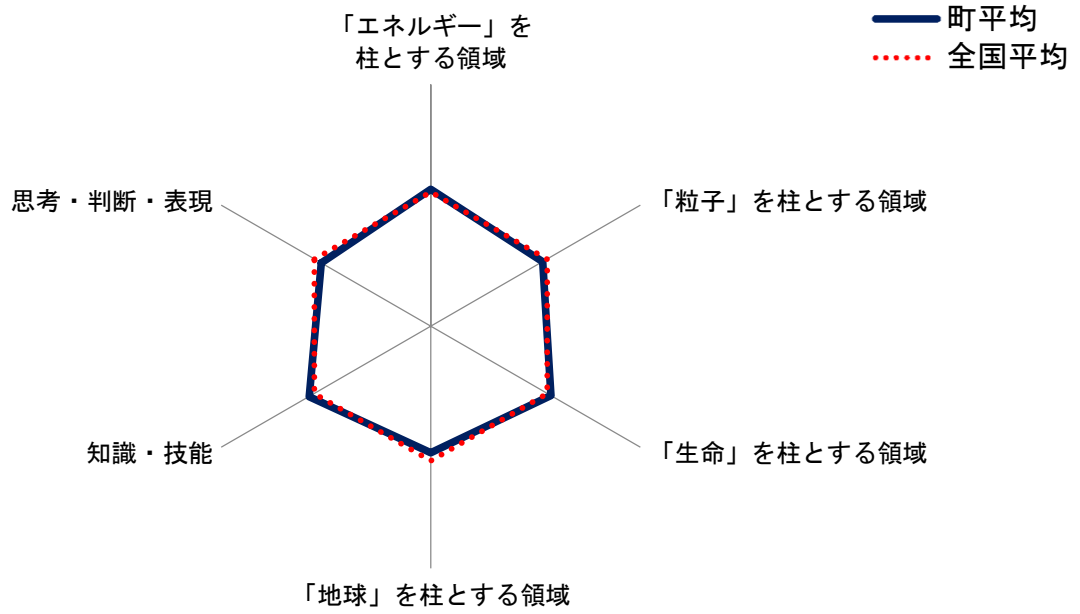


【算数】

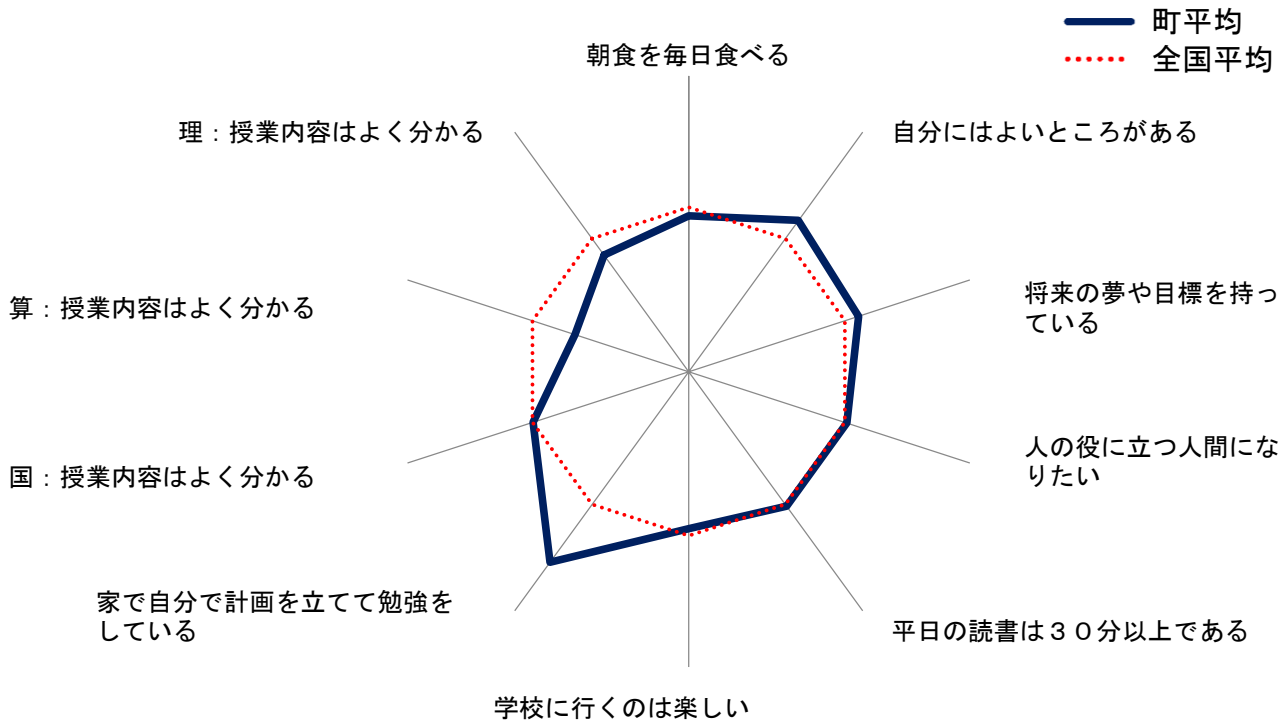


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

【理科】



○ 児童質問紙調査 (全国の平均回答率との差：肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、国語の「読むこと」、数学の「図形」の項目は全国平均との差がやや大きく、これらの学習内容の定着に課題が見られる。今後、更なる学力の定着と向上に向けて、児童一人一人の課題をしっかりと分析することにより、知識及び技能の確実な定着とその活用を一体的に捉えた学力の育成を図る取組の推進が望まれる。

児童質問紙調査では、前回調査に引き続き、「家で自分で計画を立てて勉強をしている」の項目は全国平均を大きく上回っており、極めて良好な結果となっている。また、「自分にはよいところがある」の項目は、常に全国平均を上回っており、自己肯定感の高さがうかがえる。「平日の読書は30分以上である」の項目は、改善が見られる。一方、算数と理科の「授業内容はよく分かる」の項目は、全国平均を下回っており、今後、児童にとって「楽しい授業、分かる授業」になるよう、積極的にICTを活用しながら、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善をより一層推進することが望まれる。